飛鳥時代

名前

問1　歴史書である『日本書紀』には、ある法令の内容として「仏・法・僧の三宝を敬うこと」や「天皇の命令（詔）を承った際には必ず慎んで従うべきであること」といった、政治に携わる者の心得が記されています。聖徳太子が定めたこの法令の名称として正しいものはどれですか。（2020年 奈良県公立入試 類似）

1. 憲法十七条
2. 大宝律令
3. 冠位十二階
4. 武家諸法度

問2　645年に起こった政治改革において、中臣鎌足（藤原鎌足）らとともに、権勢を振るっていた蘇我氏を倒し、後に天智天皇として即位した人物は誰ですか。（2023年 沖縄県公立入試 類似）

1. 足利尊氏
2. 聖徳太子
3. 中大兄皇子
4. 大海人皇子

問3　白村江の戦いが当時の日本の国内政治や国防に与えた影響について説明した文として、最も適切なものを選んでください。（2025年 山口県公立入試 類似）

1. 軍事力の限界を痛感した朝廷は、武士の集団を組織して国境の警備に当たらせる制度を全国的に導入した。
2. 唐や新羅の侵攻に備え、対馬や九州北部に防衛拠点を築くとともに、近江大津宮へと遷都して国家体制の整備を急いだ。
3. 唐との友好関係が決定的に悪化したため、これ以降、遣唐使の派遣は一切行われなくなった。
4. この戦いでの勝利をきっかけに、日本は朝鮮半島南部における領土的権益を確立し、大陸との交易を独占した。

問4　万葉集の中に「大王（天皇）は神でいらっしゃるので、水鳥の集まる湿地を立派な都になさった」という趣旨の歌で称えられた天皇について、その統治の背景として最も適切な説明はどれか。（2022年 大分県公立入試 類似）

1. 壬申の乱に勝利したことで絶大な権力を握り、天皇を神格化して官僚制の整備や律令の編纂を進めた。
2. 仏教による国づくりを目指し、全国に国分寺や国分尼寺を建立して、東大寺に大仏を造立した。
3. 冠位十二階を制定することで、家柄にとらわれず才能のある人物を役人として登用する制度を整えた。
4. 大化の改新を断行し、蘇我氏を打倒することで、地方の豪族が支配していた土地と民を直接統治する仕組みを作った。

問5　1世紀から7世紀初めにかけて、古代の日本（倭）が中国の各王朝と行った外交について、出来事が起きた時期が古いものから順に正しく並んでいるものはどれか。（2016年 香川県公立入試 類似）

1. 奴国の王が後漢から金印を授かる → 小野妹子が遣隋使として派遣される → 卑弥呼が魏から金印を授かる
2. 卑弥呼が魏から金印を授かる → 奴国の王が後漢から金印を授かる → 小野妹子が遣隋使として派遣される
3. 奴国の王が後漢から金印を授かる → 卑弥呼が魏から金印を授かる → 小野妹子が遣隋使として派遣される
4. 小野妹子が遣隋使として派遣される → 奴国の王が後漢から金印を授かる → 卑弥呼が魏から金印を授かる

問6　7世紀の飛鳥時代、聖徳太子（厩戸王）によって現在の奈良県に建立され、現存する世界最古の木造建築物として知られる寺院を選びなさい。（2021年 大阪府公立入試 類似）

1. 延暦寺
2. 四天王寺
3. 東大寺
4. 法隆寺

問7　7世紀半ばの東アジアの情勢において、日本が朝鮮半島へ大軍を派遣した理由とその後の影響について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2026年 青森県公立入試 類似）

1. 唐の皇帝からの要請で新羅を討つために軍を派遣したが、暴風雨により撤退し、そのまま遣唐使を廃止した。
2. 高句麗と結んで唐を攻撃するために軍を派遣したが、勝利したため、大陸に広大な領土を獲得した。
3. 唐と新羅に滅ぼされた百済を再興するために軍を派遣したが、敗北したため、九州に水城を築くなど防衛を強化した。
4. 新羅の日本侵攻を阻止するために軍を派遣したが、敗北したため、中大兄皇子は政治の表舞台から退いた。

問8　中大兄皇子が中心となって進めた「大化の改新」において、目指された政治体制の説明として最も適切なものはどれか、次の中から選びなさい。（2020年 茨城県公立入試 類似）

1. 有力な豪族が各地を分割して支配し、天皇がその調整役を担う体制
2. 仏教の力を借りて、全国に国分寺を建てることで地方の安定を図る体制
3. 武士が政治の実権を握り、幕府によって全国の土地を管理する体制
4. 土地と人々を国家が直接支配する公地公民の原則に基づく、天皇中心の中央集権体制

問9　律令国家が戸籍を作成し、すべての人々に「口分田」を分け与える「班田収授の法」を実施した最大の目的は何ですか。当時の政治方針に深く関わる理由を説明したものを選んでください。（2020年 茨城県公立入試 類似）

1. 農民の不満を解消するために、重い税の負担をなくして土地を自由に売買させるため。
2. 土地と人民を国家が直接支配する「公地公民」の原則を確立し、税を確実に徴収するため。
3. 地方の豪族に土地の私有を認めることで、中央政府への忠誠心を高めさせるため。
4. 大陸との戦争に備えるため、すべての土地を軍事基地として活用しやすくするため。

問10　7世紀に中国を統一し、律令と呼ばれる法体系に基づく統治制度を確立して、日本をはじめとする東アジア諸国の国づくりに決定的な影響を与えた帝国を選んでください。（2020年 徳島県公立入試 類似）

1. 隋
2. 漢
3. 唐
4. 宋

問11　天武天皇が行った国家建設の取り組みにおいて、律令に基づいた政治を支えるために、全ての土地と人民を国家のものとする考え方を何といいますか。（2022年 福岡県公立入試 類似）

1. 公地公民
2. 版籍奉還
3. 地租改正
4. 墾田永年私財法

問12　7世紀後半、皇位継承をめぐって起こった古代最大の内乱である「壬申の乱」に勝利し、即位した天皇が行った政策として最も適切なものはどれか。（2021年 埼玉県公立入試 類似）

1. 和同開珎を鋳造し、唐の長安をモデルとした平城京へと都を移した。
2. 冠位十二階を定め、才能のある人物を役人に登用する道を開いた。
3. 武士の力を抑えるために、全国に国分寺や国分尼寺を建てるよう命じた。
4. 日本最初の銅銭とされる富本銭を鋳造し、天皇を中心とする強力な支配体制を築いた。

問13　663年の白村江の戦いにおいて、唐・新羅の連合軍に大敗した倭（日本）の政権が、大陸からの侵攻に備えて九州や瀬戸内沿岸で実施した防衛策として最も適切なものを選びなさい。（2024年 大分県公立入試 類似）

1. 博多湾の沿岸に石築地（元寇防塁）を築き、武士を動員した
2. 東北地方に多賀城を築き、蝦夷の反乱に備えて鎮守府を置いた
3. 大宰府の北側に水城を築き、各地の要所に朝鮮式山城を造った
4. 大陸との交流を断絶するため、遣唐使の派遣を完全に停止した

答え合わせ・解説

問1	答え 1 憲法十七条	憲法十七条は、儒教や仏教の教えを基盤として作られた日本最古の成文法的な心得です。第一条の「和をもって貴しとなす」という言葉が有名ですが、記述にある通り「三宝（仏教の宝）」を敬うことや、天皇への忠誠を尽くすことが、役人が守るべき道徳として具体的に示されています。
問2	答え 3 中大兄皇子	唐（中国）の制度に習い、天皇を中心とする中央集権国家の確立を目指して行われた改革が大化の改新です。中大兄皇子は蘇我入鹿らを排除することで、有力豪族による政治から、天皇が直接統治する仕組みへと転換を図りました。
問3	答え 2 唐や新羅の侵攻に備え、対馬や九州北部に防衛拠点を築くとともに、近江大津宮へと遷都して国家体制の整備を急いだ。	白村江での敗戦は日本に大きな危機感を与えました。天智天皇は防衛を強化するために水城などを築く一方で、海岸に近い難波から内陸の近江大津宮（滋賀県）へ遷都を行い、さらに戸籍（庚午年籍）の作成など、中央集権的な国づくりを加速させる要因となりました。なお、遣唐使はその後も日本の制度や文化を整えるために継続して派遣されています。
問4	答え 1 壬申の乱に勝利したことで絶大な権力を握り、天皇を神格化して官僚制の整備や律令の編纂を進めた。	天武天皇は壬申の乱での勝利を通じて、それまでの有力豪族による合議制的な政治から、天皇が絶対的な権力を持つ政治へと転換させました。万葉集の歌は、その強大な権力を「神」と表現して称賛したものです。彼はこの権力に基づき、飛鳥浄御原令の編纂や、のちの平城京へとつながる官僚機構の整備に着手しました。
問5	答え 3 奴国の王が後漢から金印を授かる → 卑弥呼が魏から金印を授かる → 小野妹子が遣隋使として派遣される	1世紀（紀元57年）に奴国の王が後漢の皇帝から金印を授かったのが最も古く、次に3世紀（239年）に邪馬台国の卑弥呼が魏から金印を授かりました。その後、飛鳥時代の7世紀初めに聖徳太子が小野妹子を隋へ派遣しており、この順番が歴史的事実に合致しています。
問6	答え 4 法隆寺	聖徳太子は推古天皇の摂政として仏教を厚く保護し、国づくりの中心に据えました。法隆寺は飛鳥文化を代表する建築物であり、1993年には日本で初めての世界文化遺産の一つとして登録されました。選択肢の四天王寺も聖徳太子による建立ですが、世界最古の木造建築として現存しているのは法隆寺です。
問7	答え 3 唐と新羅に滅ぼされた百済を再興するために軍を派遣したが、敗北したため、九州に水城を築くなど防衛を強化した。	当時の日本（倭）は、朝鮮半島の南西部にあった百済と親密な関係にありました。百済が唐と新羅によって滅ぼされた際、その再興を支援するために中大兄皇子が軍を派遣しましたが、白村江の戦いで敗れました。敗戦後、大陸からの報復を恐れた日本は、大宰府の北側に水城を築き、各地に山城を設けるなど、国土防衛のための大規模な整備を行いました。
問8	答え 4 土地と人々を国家が直接支配する公地公民の原則に基づく、天皇中心の中央集権体制	それまでは蘇我氏のような有力豪族が強大な権力を持っていましたが、中大兄皇子は中国（唐）の制度を参考に、天皇が全国を直接支配する仕組みを整えようとしました。この改革の基本方針は、646年に出された「改新の詔」によって示されました。
問9	答え 2 土地と人民を国家が直接支配する「公地公民」の原則を確立し、税を確実に徴収するため。	大化の改新以降、政府はそれまで有力豪族が支配していた土地と人民を、国家が直接支配する「公地公民」の仕組みへと転換しようとしました。口分田を与えて戸籍で管理することで、誰がどこで耕作しているかを把握し、租・庸・調などの税や防人などの兵役を課す基盤を作ることが目的でした。
問10	答え 3 唐	この帝国は、隋が短期間で滅びた後に中国を再統一し、約300年にわたって繁栄しました。日本は遣唐使を派遣して、その優れた政治制度や仏教文化、都市計画などを積極的に取り入れ、律令国家としての基盤を固めていきました。
問11	答え 1 公地公民	天武天皇から持統天皇の時代にかけて整備された律令国家の根本原則です。それまで豪族が私有していた土地や人民を国家の管理下に置き、戸籍に基づいて人々に田を与える「班田収授法」などを行うための基盤となりました。
問12	答え 4 日本最初の銅銭とされる富本銭を鋳造し、天皇を中心とする強力な支配体制を築いた。	天武天皇は、天智天皇の死後に起こった壬申の乱において、大友皇子を破って即位しました。この勝利によって強大な権力を得た天武天皇は、豪族を抑えて天皇に権力を集中させる中央集権的な政治を推進しました。また、飛鳥池遺跡などの調査から、この時期に日本最古の貨幣とされる富本銭がつくられたことが明らかになっています。冠位十二階は聖徳太子、国分寺の建立は聖武天皇、平城京遷都は元明天皇の事績です。
問13	答え 3 大宰府の北側に水城を築き、各地の要所に朝鮮式山城を造った	白村江の戦いで大敗を喫した倭の政権は、唐・新羅の連合軍が日本列島へ攻めてくることを恐れ、急ピッチで国防を整えました。中大兄皇子（天智天皇）は、亡命してきた百済の貴族の指導のもと、対馬や北九州から瀬戸内沿岸にかけて山城（朝鮮式山城）を築かせ、さらに九州の政治拠点である大宰府を守るために大規模な土塁と堀を持つ「水城（みずき）」を建設しました。また、防人（さきもり）を配置して沿岸の警備を強化しました。